

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ情報

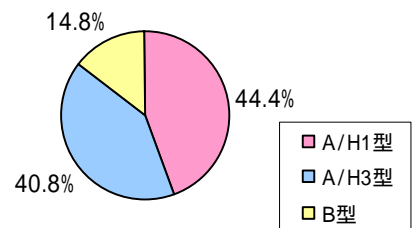
今週は **22.30 人** (先週 15.27 人) と定点あたりの患者数が増加しました。地域的には姫路市、社、福崎及び和山田の各保健所管内で警報基準である定点あたり患者数 30.00 人を超えているほか、全県的に流行が広がっています。

全国的には(2週現在) 警報レベルを超えている保健所があるのは兵庫県を含めた 6 道府県、注意報レベルのみを超えている保健所があるのは 43 都道府県となっています。

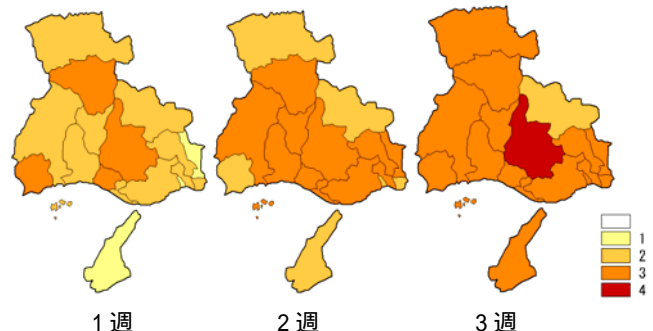
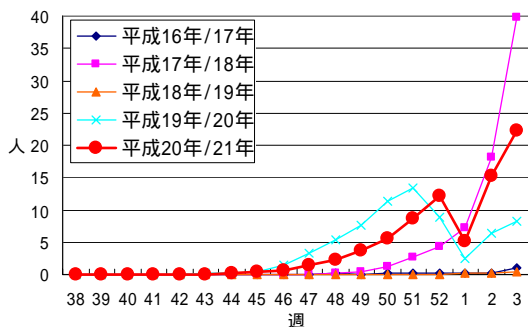
1 月 26 日現在、インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1 (A ソ連) 型 460 件、A/H3 (A 香港) 型 422 件、B 型 153 件となっていて、A/H1 (A ソ連) 型の検出数が A/H3 (A 香港) 型を追い越しました。県内では A/H1 (A ソ連) 型 6 件、A/H3 (A 香港) 型 27 件、B 型 (山形系統) 2 件、B 型 (ビクトリア系統) 16 件が検出されています。

例年、これから本格的な流行期となりますので、今後の動向にはさらに注意が必要です。

インフルエンザウイルス型別分離・検出報告割合2008/2009シーズン(全国)



インフルエンザの定点あたり患者発生状況(全県)(第38週~)

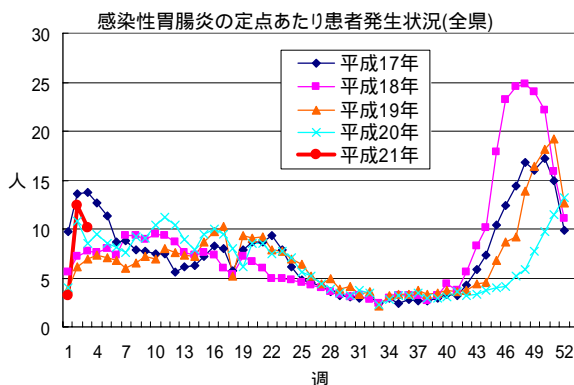


(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。)

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

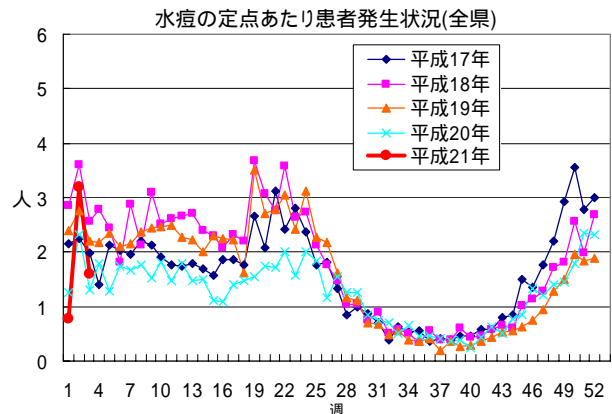
感染性胃腸炎

今週は患者数が減少しましたが、今後も注意が必要です。



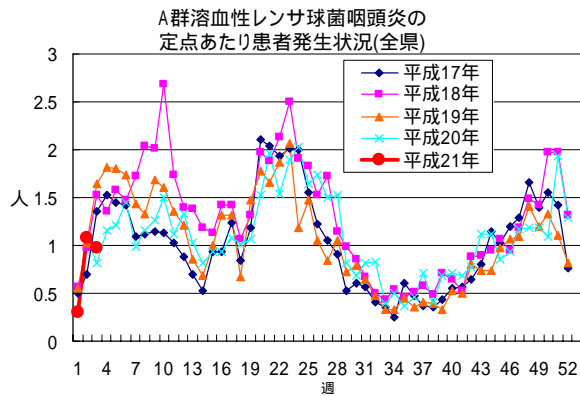
水痘

今週は患者数が減少しましたが、6月頃まで患者数が多い状態が続きますので注意が必要です。



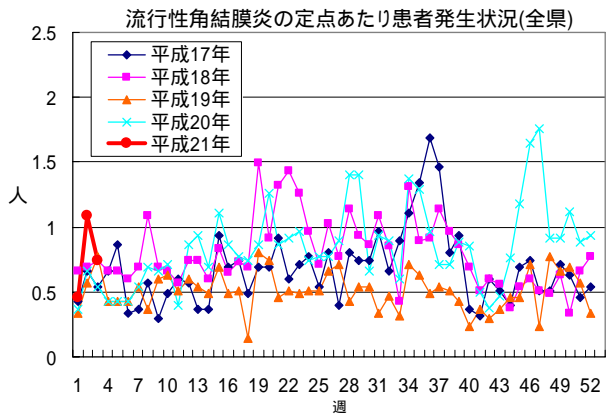
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週は患者数が減少しましたが、例年の動向から更に患者数の増加が予想されます。



流行性角結膜炎

今週は患者数が減少しましたが、地域的には尼崎市の患者数が多い傾向が続いています。



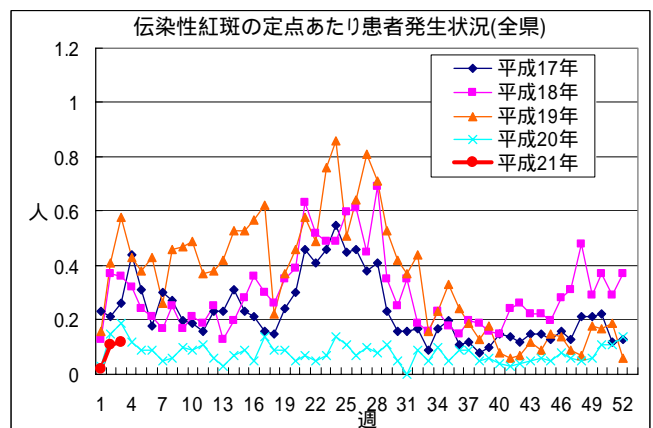
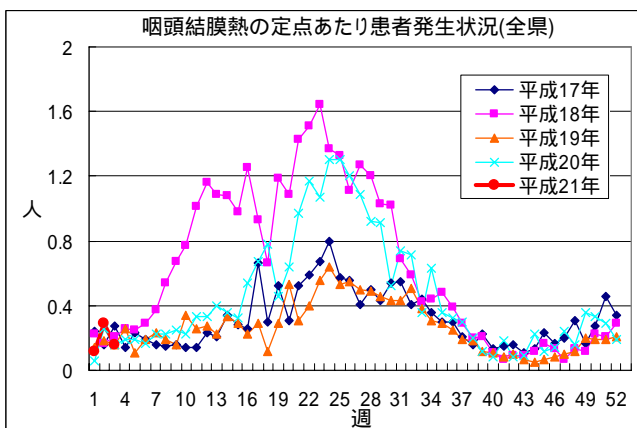
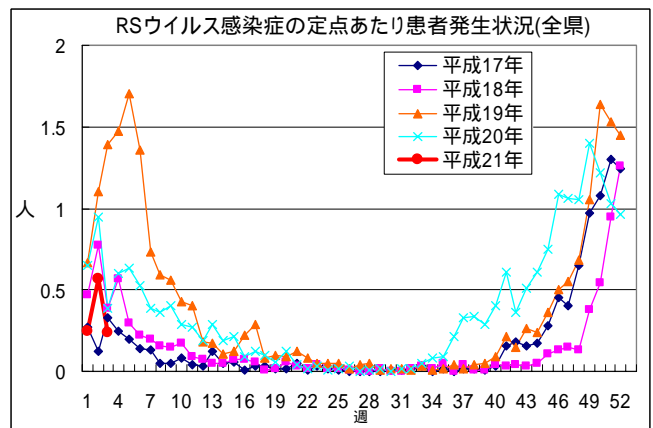
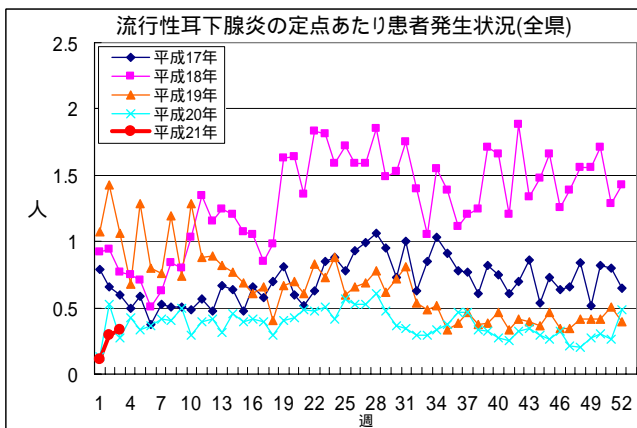
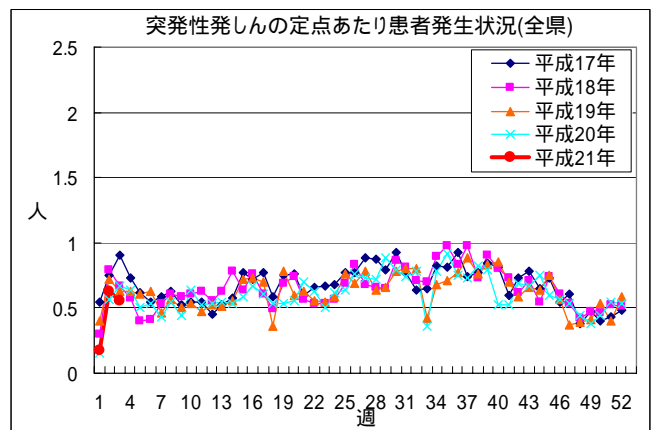
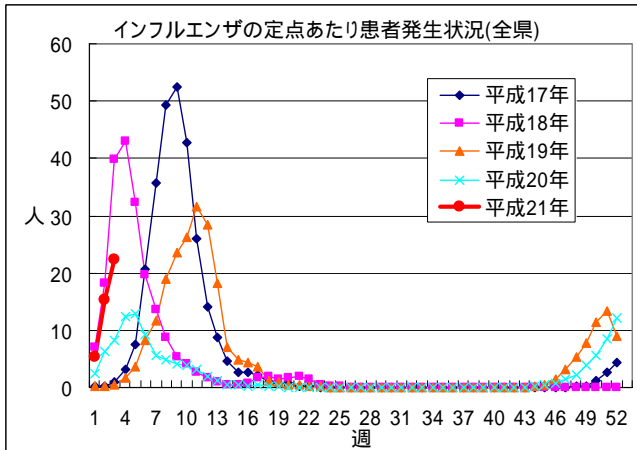
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	22.30	15.27	+ 7.03	6位	突発性発しん	0.56	0.64	- 0.08
2位	感染性胃腸炎	10.16	12.37	- 2.21	7位	流行性耳下腺炎	0.33	0.29	+ 0.04
3位	水痘	1.59	3.19	- 1.60	8位	RS ウイルス感染症	0.24	0.57	- 0.33
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.98	1.08	- 0.10	9位	咽頭結膜熱	0.16	0.29	- 0.13
5位	流行性角結膜炎	0.74	1.09	- 0.35	10位	伝染性紅斑	0.12	0.11	+ 0.01

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 13名 （神戸市6名、尼崎市2名、姫路市1名、西宮市1名、伊丹保健所管内2名、赤穂保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	レジオネラ 1名 （伊丹保健所管内；肺炎型）
5類感染症	アメーバ赤痢 1名 （伊丹保健所管内）、 ウイルス性肝炎 1名 （神戸市，B型）、 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名 （西宮市）、 後天性免疫不全症候群 1名 （AIDS）
追加報告	結核 5名 （尼崎市；第2週、姫路市；第1週、宝塚保健所管内2名；第1週、第2週、洲本保健所管内；第2週）、 A型肝炎 1名 （神戸市；第2週）、 後天性免疫不全症候群 1名 （第2週）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。